

## 北星信用金庫と上川総合振興局との包括連携協定

～平成26年度の取組～

### 1 地域の食の振興に関する事項

#### (1) 2014ビジネスマッチングin名寄の開催

北海道の基幹産業である食関連産業の振興を図るため、地域の食品バイヤー（食品メーカー、商社、百貨店など）との個別対面方式によるビジネスマッチングを実施し、商品開発や販路開拓を支援することを目的に今年度、初めて開催しました。

名称：2014ビジネスマッチングin名寄

日時：平成26年10月7日（火）

バイヤー：伊藤忠商事

参加企業：「かわにしのお農家」（士別市）、「F a r o」（名寄市）

「もち米の里ふうれん特産館」（名寄市）、「美深福祉会のぞみ」（美深町）



## 2 地域の環境・観光の振興に関する事項

### (1) 天塩川流域森林環境保全事業への協力

日本最北の高層湿原「松山湿原」の登山の集いにおいて、登山者の協力を得て木材チップ（袋詰め）を登山道に敷設することにより、登山道としての機能を維持するとともに、登山者自らが参加してこの取組みに貢献したという達成感から、森林環境保全の意識の高揚を図る事を目的に、北星信用金庫と協働で実施しました。

名 称：2014「松山湿原とニウブ自然探勝」第20回登山の集い

日 時：平成26年7月5日（土）9：00～12：45

場 所：美深町字仁宇布（道有林上川北部管理区内）松山湿原

仁宇布の冷水、雨霧の滝、女神の滝

参加者：112名

主催者：美深町観光協会 後援：上川総合振興局北部森林室

内 容：松山湿原登山・散策、仁宇布の冷水・雨霧の滝・女神の滝探索

北星信用金庫からのご協力内容：

- ・敷設する木材チップの提供
- ・登山ストック（50本）の提供
- ・北星信用金庫職員の参加・木材チップ敷設作業の協力
- ・「仁宇布の冷水」採水用 空ペットボトル（500本）の提供（年100本×5年）



参加者協力による登山道へのチップ播き作業の様子

### 3 地域の人材育成に関する事項

#### (1) 農業人材育成地域連携協議会事業への協力

当振興局では、上川農業の次世代を担う若い人材の育成・確保を図るため、旭川農業高校と地域関係機関が連携協力し、農校生の就農意欲の喚起や就農に向けた取り組みを実施しています。

スタートとなった平成26年度は、北星信用金庫から講師として派遣された名寄市風連町のもち製造会社「もち米の里ふうれん特産館」社長で、もち農家の堀江英一氏が旭川農業高校1年生約160名を対象に講演を行いました。

減反によってもち米栽培を始め、懸命の売り込みの結果、赤福やモスバーガー、セブソイレブンなどで地元産のもち米が使われるようになるまでを説明し、「農業は夢のある職業。人とは違う何かを見つけてやっていくことが大切」と農業の魅力を語っていただきました。

日 時：平成26年11月10日 13：25～15：00

場 所：旭川農業高校体育館

対 象：旭川農業高校1年生約160名

講 師：(株)もち米の里ふうれん特産館 代表取締役 堀江 英一氏

テーマ：「若者が集まる農業を目指して」

